

令和6年度「#あおばな in 千葉学園高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年5月21日（火）13：30～15：00

○場所：千葉学園高等学校 講堂

○参加学生：全校生徒 281名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①若い世代が集まる魅力あるまちづくりについて
- ②授業料等の助成支援制度について
- ③スポーツ振興について
- ④決断や判断をする際に心がけているポイントについて
- ⑤女子高校の存在意義と女性の活躍推進について
- ⑥高校生時代に学ぶべきことについて

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・皆さんには、学校外のようなイベントにも参加してほしい。高校生の数が減っているのでも、高校生というカテゴリーのグループが世の中で非常に貴重になっている。私が今、高校生に戻れたら社会活動をたくさんしたい。そういうチャンスがたくさんある。まちづくりに参画するとか、はっちでボランティアをやってみるとか、そういう高校生活を送ってみたいと思う。そうすると大人世代とも関わりが来て、世間が広がったと思う。社会人として生きる経験となると思う。限られた3年間であつという間なので、充実した日々を送ってほしいと思うし、時間があれば、そういった活動もしてほしい。
- ・今日の意見交換でも答えがないことも多かった。これからも、もしかすると100%の答えがないこともあるかもしれない。でも、みんなが納得する答えは、対話を通じて必ず探せると、私は思う。
- ・学校や家庭、将来のことについても、ぜひ対話をしてほしい。対話が皆さんを成長させてくれる。これからの皆さんの成長を大いに期待している。

